

1-6 働く人たちの考え

1. 題材設定の理由

「身近な人々の職業」の調べ活動を通して、生徒たちは働くことの喜び、楽しさ、苦しさ、困難さを学ぶことができた。こうした学習を通して、生徒たちは働くことが単に生活の糧を得るだけでなく、自分の夢を実現させたり、社会に貢献したりするなどの意味や値打ちをもっていることに気づくことができたと思われる。

そこで、これまでの調べ学習から得た成果（働くことの意味や値打ち）について再度確認し、働くことについての自分なりの考えをもたせたい。また、今後の職業選択の指針となることを理解させたい。

2. 指導のねらい

働くことの意味や値打ちを単に収入を得るという観点からとらえるのではなく、自己実現につながるものであることを理解させる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・身近な人々の職業調べの成果と課題を読み返す。
本時	・働くことの意味や値打ちを自分なりにまとめることができる。
事後	・「生きる」の記入欄から働くことの意味の理解の様子をつかみ、不十分な生徒に個別指導を行う。

<説話例> 「42度の暑さの中で……」

わたしたちは、働くことは単にお金を得るためだけと思いがちです。ですが、これまでの調査活動を通して、ただ、収入を得るために働いているのではないことが学べたと思います。先生の兄は、夏の暑い時には42度を超える工場の中で働いています。汗は滝のごとく流れ、シャツは何枚もかえなければなりません。そんな兄に、仕事をかえてはどうかと話してみると、兄は「暑いことは

大変だけど、自分が背負っている仕事とその後の仕事の基礎になることなので、責任は重大でやりがいがある。また、汗をいっぱいかいて、仕事を終えた後のビールは本当にうまい。その時の気持ちよさは何とも言えない。」と答えてくれました。その言葉は大変新鮮な響きをもっていました。そこには、大変だけれどやりがいがある世界が見られたように思いました。みなさんただ、収入を得ることを考えるのではなく、働くことの意味を多様にとらえて職業を選択していきたいですね。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・資料の中の登場人物の働く喜びや厳しさを理解できる。	◎資料を読む。 主人公の働くことの喜びや厳しさについてP.16[1]に記入してまとめる。 ◎資料の主人公の働くことの喜びについて交流する。 ・早く一人前になるために親方の仕事の様子を真剣に見て学んでいる。 ・少しでも技術が身についたときの嬉しさ。 ・お客さんの喜ぶ顔を見たときの達成感。 ◎資料の主人公の職場や職場の厳しさについて交流する。 ・お客さんに絶対に満足して頂ける家を建てなければならない。 ・納期に間に合わせるために、夜遅くまで働かなければならない。	・資料から自分の考えを書かせる。	・P.16[1]
	課題：働く人たちの考えをもとに、働くことの意味について考えよう。			
中心的な活動	・身近な人々の職業調べを終えて、働く人たちの考えを交流する。 ・働くことの意味と価値を理解できる。	◎身近な人々の職業調べを終えて、働く人たちの考えを交流する。 ・働くことは、大変。 ・職業に就いても勉強は続くこと。 ・収入を得ることだけが仕事ではないこと。 ・資格を取ることが大切なこと。 ◎働くことの意味と価値を自分なりにまとめP.17[2]に記入する。	・前時に行った「身近な人々の職業調べ」の成果を振り返らせながら、交流させる。 ・学び得た考えを自由に発表させる。 ・これまでに学習したことに基づいて、働くことの本当の意味を考えさせる。	・P.14～15を参考に。 ・P.17[2]
まとめの活動	・様々な観点から職業を考える。	◎働くことの意味と価値について交流する。 ・生活の糧を得るだけでなく、人のために役立つことができている。 ・人に喜んでもらえることが何よりも素晴らしい。 ◎交流する中で、分かったことがあればP.17[2]に書き加える。 ◎興味のある職業を2つ選んで、各観点からその職業を見つめ直してみる。 ◎調査の結果から得たことを交流する。 ・職業によって実現されることは千差万別である。また、働くことは様々な意味があることが分かった。	★の観点の内容が理解しにくい生徒には支援する。 ・働くことを様々な観点から見ることもつながる。 ・今後の職業選択にも生かせるので、大切に扱う。	・P.17★